

<b>ペントキサゾン剤</b> <b>メテオ</b> <b>(1キロ粒剤 / ジャンボ / フロアブル)</b>	<b>取扱メーカー：</b> 北興  <b>原体メーカー：</b> 科研製薬
<b>成分：</b> ペントキサゾン〔オキサゾリジンジオン系〕 ……2.5% (粒剤), 8.3% (ジャンボ), 5.0% (フロアブル) <b>その他 PRTR 該当成分：</b> ドデシル硫酸ナトリウム〔PRTR・1種〕 ……1.2% (ジャンボ)	<b>性状：</b> 類白色細粒 (粒剤) 淡褐色細粒, 水溶性パック入り1パック30g (ジャンボ) 類白色水和性粘稠懸濁液体 (フロアブル) <b>毒性：</b> 普通物 <b>消除法：</b> ——

## 【品目特性】 ……

### 〈共通〉

- 1成分で雑草対策できる初期除草剤。
- ノビエ、ホタルイ、コナギ等に高い効果を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。
- 移植前、移植後のどちらでも使える。

### 〈粒剤・フロアブル〉

- 田植同時処理が可能である。

## 【使用上のポイント】 ……

### 〈共通〉

- 雑草の発生前から発生初期に有効なので、ノビエの1葉期までに時期を失しないように散布する。
- 散布後は、雑草の種類や発生状況に合わせて一発処理剤又は中・後期剤を散布する。
- 共通注意事項の5、水稲除草剤散布使用上のポイントを参照。

雑草名	散布適期		
	粒剤	ジャンボ	フロアブル
ホタルイ	発生前～発生始期まで	発生始期まで	発生前～発生始期まで
クログワイ	発生前まで	—	発生前まで

### 〈粒剤〉

- 田植同時処理で施用する場合、終了後はできるだけ速やかに入水する。

### 〈フロアブル〉

- クログワイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないの、有効な後処理剤と組み合わせて使用する。

### 〈ジャンボ〉

- 小包装 (パック) のまま10 a 当り10個の割合で水田に施用する。
- 投げ入れ処理の場合は水深を5～6 cmにする。
- 水口施用の場合は、水口付近の水深を2～3 cm程度に湛水した状態で、入水時に小包装 (パック) のまま水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、施用後田面水が通常の湛水状態 (湛水深5～6 cm) に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意する。

## 【薬効・薬害等の注意】 ……

### 〈共通〉

- 苗が水没するような深水状態では、褐変症状等の薬害が出るおそれがあるので、水管理に注意する。
- 軟弱徒長苗を移植した水田、極端な浅植えや深植えをした水田、砂質土で漏水の大きな水田 (減水深2 cm/日以上) では、初期生育の抑制が生じるおそれがあるので使用をさける。
- 適用作物 (水稲) の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物 (いぐさ、れんこん、せり、くわい等) への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

## 【安全対策上の注意】 ……

### 〈粒剤〉

- 魚類に影響を及ぼすので、使用時は注意。
- 藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。

### 〈ジャンボ〉

- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は、誤食したり眼に入らないよう注意。
- 藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。

〈フロアブル〉

●藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。

〈粒剤・フロアブル〉



【適用と使用法】.....

### ①メテオ1キロ粒剤

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ クログワイ	移植時	1kg	田植同時散布機 で施用	2回以内※
		植代後～移植前7日 又は移植直後～ ノビエ1葉期 但し、 移植後30日まで		湛水散布	

※ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数：2回以内

### ②メテオジャンボ

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ	植代後～移植前7日 又は移植直後～ ノビエ1葉期 但し、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (300g)	水口施用 又は 水田に小包装 (パック) のま ま投げ入れる。	1回※

※ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数：2回以内

### ③メテオフロアブル

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ クログワイ	移植時	500 ml	田植同時散布機 で施用	2回以内※
		植代後～移植前7日 又は移植直後～ ノビエ1葉期 但し、 移植後30日まで		原液湛水散布 又は水口施用	

※ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数：2回以内